

## アイデアをコンセプトに磨きあげる

(株)アイデア 桑原正浩 (日刊工業新聞「機械設計」7月号から)

これまで出した「たくさんの」アイデアを、どのようにして実行可能なコンセプトに磨きあげるか。実はこの部分がクラシカル TRIZ において欠落しているもっとも重要な部分と言える。しかし、技術者はたくさんのアイデアをもとに、更に磨きあげてコンセプト化しなければならない。その目的は、実現可能なコンセプトの創造であり、中長期を視野に入れた競合優位性の構築であり、そのためのアイデアのシステム化思考であると言える。ここでは図1に示すステップで、アイデアの有効化を行う。

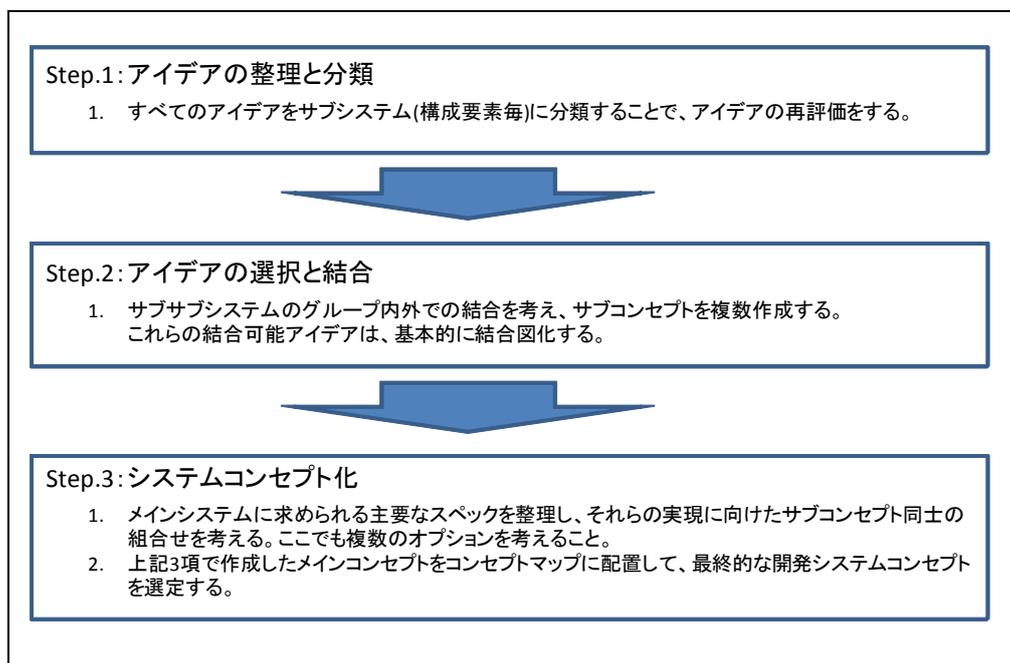


図1 コンセプト有効化のステップ

## 電動シェーバーでのアイデアの有効化の事例

ここでは、電動シェーバーで出したアイデアからコンセプトをどのように導き出したかを詳細に述べる。<中略>

以上、第2回目～第5回目までの4回にわたって、TRIZをメインエンジンとした創造的問題解決の方法を説明してきたが、読者の皆さんのTRIZ活用のヒントになったであろうか？ 特に、最後のアイデアをコンセプトにまとめる部分では、実際に多くのアイデアを出してみて、どのように整理していく方が良いのか、毎回考えるところである。基本は、目標値に向かって、出したアイデアを戦略的に組合わせて行くことで、これまで選択できなかったものが両立へ向けた創造的思考へ変化することを期待しているのである。